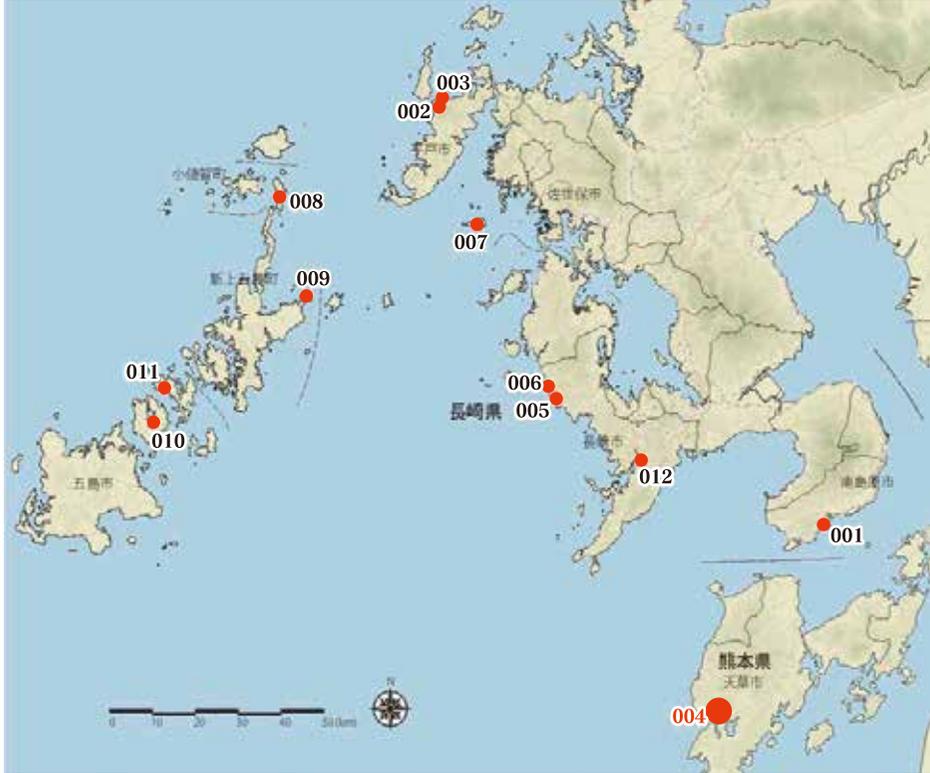


「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」構成資産位置図



〔熊本県〕天草市 [長崎県]長崎市・佐世保市・平戸市・五島市・南島原市・小値賀町・新上五島町

001 原城跡	002 平戸の聖地と集落 (春日集落と安満岳)	003 平戸の聖地と集落 (中江ノ島)	004 天草の崎津集落
005 外海の出津集落	006 外海の大野集落	007 黒島の集落	008 野崎島の集落跡
009 頭ヶ島の集落	010 久賀島の集落	011 奈留島の江上集落 (江上天主堂とその周辺)	012 大浦天主堂

COLUMN

世界遺産の種類

- 文化遺産… 顕著な普遍的価値を有する記念物、建造物群、遺跡、文化的景観など
- 自然遺産… 顕著な普遍的価値を有する地形や地質、生態系、絶滅のおそれのある動植物の生息・生育地など
- 複合遺産… 文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えているもの

コラム

世界遺産とは

地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現代へと引き継がれてきたかけがえのない宝物を、人類共通の遺産として未来へと引き継ぐために設けられたものです。世界遺産登録は世界的な価値が認められると同時に、世界の代表としてこの遺産を未来に向け、大切に守っていくという責任を伴うものでもあります。

天草の宝が  
世界遺産に！

十 長崎と天草地方の  
潜伏キリシタン関連遺産



「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として世界文化遺産登録が決定  
「天草の崎津集落」

長崎と天草地方の  
潜伏キリシタン関連遺産  
について

天草と長崎には、江戸幕府によるキリシタン弾圧の場所や、地域独自の祈りのかたちを育みながらひそかに信仰を継承した集落・遺跡が数多く残っています。このうちの「天草の崎津集落」は「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の12の構成資産のひとつとして、2018年世界文化遺産に登録されました。

■概要  
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、200年以上に亘る厳しい禁教政策のなかで長崎と天草地方の潜伏キリシタンが既存の社会・宗教と共生しつつ、自らの信仰を継続したことを物語る貴重な証拠です。

COLUMN



禁教期から継続される  
土地利用  
庄屋屋敷があった場所は現在の崎津教会に変わりましたが、崎津諏訪神社や主要な道路、宅地などが継続されていることが分かります。